

<学会からのお知らせ>

マテリアルライフ学会
「第8回マイクロプラスチック・シンポジウム」

【会期】2025年12月9日(火)13時00分~17時15分 【会場】オンライン開催

海に流れ出た大量のプラスチックごみが引き起こす環境汚染が世界的な問題になっています。2019年に大阪で開かれたG20首脳会議で「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が宣言され、2022年4月には、プラスチックの資源循環を一層推進していくことを目的に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されるなど日本政府は、その対策に取り組んでいます。また、各国・各機関もそれぞれ独自に対策に取り組んでいます。私たちは、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題の根本解決には以下の4項目を同時並行で取り組むことが必要と考えています。

- ① 環境中にプラスチックごみをLeakしない産業構造(循環型産業)への変革
- ② 環境中にLeakしたプラスチックごみの実態調査とその回収作業・方法
- ③ 環境中にLeakしたプラスチックがマイクロプラスチックまで細片化するメカニズム、分析法や生物に与える影響などの基礎研究
- ④ 環境中へのプラスチックごみのLeakを規制する施策の推進(ISO、国内法の整備、国際的な共同作業など)

マテリアルライフ学会では、劣化やエコマテリアルを専門に扱う学会として、プラスチックごみ問題に取り組んでいる専門家や第一線のマイクロプラスチック研究者を招聘し、最新情報の共有と意見交換を目的として2018年以降毎年マイクロプラスチック・シンポジウムを開催してきました。第1回~第5回シンポジウムでは、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題をわかり易く広報する目的で開催してきましたが、第6回シンポジウムからは少し開催趣旨を変えて、プラスチックごみ・マイクロプラスチック問題を解決する具体策を議論するような場を提供しています。

本年は2025年12月9日(火曜日)に第8回マイクロプラスチック・シンポジウムを開催します。今回は4名の講演者に、上記に示した4項目について講演していただき議論します。

プラスチックごみやマイクロプラスチック問題に関心をお持ちの方々の参加をお待ちしております。

シンポジウムは、下記の要領で開催します。

日時：2025年12月9日(火)13:00-17:15

会場：オンライン開催 (Zoom)

主催：マテリアルライフ学会

協賛(予定)：機能性フィルム研究会、繊維学会、日本ゴム協会、プラスチック成形加工学会、色材協会、日本材料学会、日本化学会、高分子学会、日本建築学会、特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会、公益財団法人日本下水道新技術機構、日本分析化学会、日本水環境学会、廃棄物資源循環学会、他

募集人員：100名

参加費(予稿集代含む。今回より電子冊子での配布となります。予稿集データのダウンロードについては、参加申込の登録メールにご案内予定です。配布時期は1月下旬を予定しております。):

マテリアルライフ学会員：3,000円、協賛団体会員：3,000円、非会員：6,000円

申込方法：

申込用紙によるメール、FAX、郵便による直接申込またはマテリアルライフ学会HPより

プログラム(敬称略)：

13時00分~13時05分：開会挨拶(黒田真一)

第I部：座長 五十嵐敏郎

13時05分~14時05分：講演1

【講演者】福岡大学：八尾 滋

【演題】高分子の基礎物性から考える実効的資源循環

【内容】紙や金属と異なり、プラスチックの資源循環システムは未完の状態である。これはプラスチックの歴史が僅か70年程度であり、まだその物性全容が明らかになっていないことが大きな原因と考えられる。特に力学物性の低下に関しては、これまで再生不能という高分子鎖切断に伴う化学劣化が原因と考えられていたために停滞が生じていた。本講演では、我々が見出したこれまでの常識を覆す

「物理劣化・物理再生理論」の概要と、そこから導き出される実効的な資源循環に関する私見を述べる。

14時05分～15時05分：講演2

【講演者】環境省：長谷代子

【演題】プラスチック汚染に関する国際動向と対策について

【内容】マイクロプラスチックを含むプラスチック汚染は喫緊の問題である。現在汚染対策のための条約交渉が進められているが、日本はG20やG7で対策の必要性を呼びかけるとともに、国内では関連法令や政策文書に基づき、プラごみの量・分布の実態把握、発生源の特定、生物へ生態影響評価などの科学的知見の集約、流出量インベントリの策定によって施策の基礎情報の整備を行い、プラスチックの3Rや廃棄物の適正処理等に率先して取り組んでいる。本講演では、これらの概要を紹介する。

第II部：座長 黒田真一

15時10分～16時10分：講演3

【講演者】国立環境研究所：今泉圭隆

【演題】河川水中のマイクロプラスチックの濃度予測とその生態リスク評価について

【内容】マイクロプラスチックにはサイズ・樹脂種・形状など様々な分類があるため、通常の化学物質とは異なり、環境リスク・生態リスクを評価するためにはそれらの違いの影響も含めた多様な影響評価結果が必要になる。本講演では、有機化学物質の環境リスク評価に利用されている多媒体環境動態モデルを形状等の違いを踏まえてマイクロプラスチックに応用し、全国の河川水中濃度を予測した結果および、それらを用いて試算した生態リスクの評価結果を紹介する。

16時10分～17時10分：講演4

【講演者】徳島大学：水口仁志

【演題】大気を漂うポリマー成分の定量評価技術の開発と今後の展望

【内容】熱分解ガスクロマトグラフィー／質量分析法による大気中ポリマー成分の定性・定量技術を紹介する。大気中を漂う微粒子状物質は10～20μm以下であり、ポリマー成分はそこにごく微量に存在する。これらを評価するには、粒径や共存物質の影響を受けにくい信頼性の高い分析技術が不可欠である。本講演では、サンプリングから定量分析に至る技術的要件と分析結果の一部を示し、環境評価や大気質管理への応用を見据えた課題と展望を述べる。

----- キリトリセン -----

行事申込用紙

| | | |
|--|--|---|
| 【申込先】 マテリアルライフ学会 〒116-0011 東京都荒川区西尾久7-12-16 (株)ソウブン・ドットコム内 TEL.03-3893-0111 FAX.03-3893-6611 E-mail:mls@kt.rim.or.jp | | |
| 参加申込書 (コピー可) | 行事名： マテリアルライフ学会 「第8回マイクロプラスチック・シンポジウム」 (2025年12月9日) | |
| | 参加者名 (複数可) | 【参加費】 マテリアルライフ学会員：□ 3,000円 協賛団体会員、講演者所属団体会員：□ 3,000円 非会員：□ 6,000円 |
| | 勤務先 | TEL. FAX. E-mail : |
| 【送金方法】 どちらかを選択し○で囲んでください ①銀行振込：みずほ銀行 兜町支店 普通口座 1505652 ②郵便振替：00120-2-708181 振込予定__月__日 口座名：マテリアルライフ学会 ※請求書 (要・不要) | | 連絡先 〒 ----- ----- |

※参加費の該当箇所を○で囲んで下さい。

↑※連絡先は明瞭にご記入下さい。